

News Release

2024年5月28日
NTT東日本 福島支店

農作業の効率化に向けた国産ドローンを活用した農薬散布デモフライトの実施について

東日本電信電話株式会社 福島支店(支店長:畠山 良平、以下 NTT 東日本福島支店)は、国産ドローンによる農薬散布デモフライトを会津若松市町北町地内の水田で行い、農作業の効率化に向けた効果検証を実施します。

1. 背景・目的

近年、農業分野の抱える「従事者の高齢化」「人材不足」「後継者不足」などさまざまな課題を解決する手段として、スマート農業が注目を集めています。特に、生産性向上・省力化を目的としたセンサーやカメラを利用した農業IoTやドローン等のデジタル技術活用は、農作業を効率化するツールとして急速に拡大しています。

NTT 東日本福島支店では、通信インフラの維持・管理に使用しているドローン技術を活用したインフラ分野におけるスマートメンテナンスの実現に向けた実証実験等を実施してまいりました。今般、こうした技術を農業分野にも展開することとし、米等を作付する水田農家のご協力のもと、ドローン飛行による農薬散布のデモフライトを行い、農作業における効率化について効果検証を行います。

2. 実施概要

水田への農薬散布を農業ドローンで実施し、性能の確認・評価/検証します

(1) 実施日時

2024年5月30日(木) 7時00分~10時00分

※天候などにより変動する場合があります

(2) 実施場所

会津若松市町北町地内水田

(3) 使用ドローン機

株式会社 NTT e-Drone Technology(代表取締役:滝澤 正宏、以下NTTイードローン)社製「AC101」(<https://e-drone.tech/>)

【特徴】

- ・日本の農業現場に適したコンパクトで軽量の機体
- ・シンプルな自動化で操縦負担を軽減
- ・長時間の飛行が可能なバッテリーを搭載

3. 今後について

自治体や地域のスマート農業に興味をおもちの団体・事業者・農家様に対し、ドローンをはじめとしたデジタル技術の活用による地域社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

NTT 東日本グループは「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として、今後も通信事業で培ったアセット・ノウハウを活用した地域のレジリエンス強化に取り組むとともに、デジタルを活用した農業分野のスマート化の実現とサステナブルな社会創りに貢献してまいります。

【参考:使用ドローン機】



NTT イードローン AC101 機

【本報道発表に関するお問い合わせ先】

NTT 東日本 福島支店 広報担当

佐藤・本間 fuku_kisou2-gm@east.ntt.co.jp